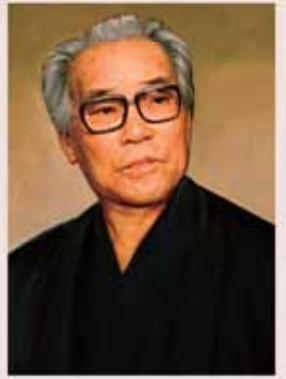


明治7年（1874年）に堀野新田の農家に生まれ、14歳で上京しました。その後、現在の東京大学で学び、27歳で農学博士になると、ヨーロッパへ渡りタンパク質など栄養素の研究を始めました。帰国後に、米ぬかからオリザニン（ビタミンB1）を取り出すことに成功し、ビタミンの第一発見者となりました。さらには、合成清酒の製造やバトローゲン（育児用粉ミルク）の開発にも貢献しています。

昭和18年（1943年）には、文化勲章を受章しています。



鈴木梅太郎（堀野新田）
ビタミンを発見した
世界的な学者



藤田まさと（細江）
作詞家の権利を守り
昭和の歌謡界を築く



明治41年（1908年）に細江生まれ、本名は藤田正人。小学生のとき満州に渡りましたが、帰国して大学へ入学。3年生で中退して日本ボリドール蓄音機へ入社し、制作部長や文芸部長を務める傍ら、作詞活動も行い、「岸壁の母」「浪花節だよ人生は」などのヒット曲を作詞。また、音楽家の著作権を守るために活動も積極的に行い、昭和48年（1973年）には日本音楽著作家連合会の会長を務めています。生涯で、70曲を超えるヒット曲を作り、歌謡界で数々の賞を受賞しています。



藤田まさと（細江）
作詞家の権利を守り
昭和の歌謡界を築く

明治42年（1909年）に福岡に生まれ、大学卒業後に東京電気化学工業（現TDK）に入社。37歳で社長に就任し、法人化に成長させました。平成10年に亡くなつた後、故郷の子どものためにと、多額の寄付をし、17年に「山崎こども教育振興財団」を設立し、教育支援にも大いに貢献しています。



峰松房吉（片浜）
親孝行の手本



戸塚豊蔵（大江）
「誘進流」を広めた
手もみ製茶の天才

嘉永5年（1852年）生まれ。14歳で「転縁法」を考案し、「倉開流」と名付けられました。静波の伝習所で、全国から集まつた人に技術を教えました。

子どものころから親を大切にして、重い病気で歩けなくなつた両親をよく看病したから、明治40年（1907年）に国から表彰されました。

（偉人の画像提供：市教育委員会）



市には、地域のために尽力した人や熱心に研究を続けた人、文化芸術を極めた人など多くの偉人がいます。人物や偉業を広く市民に知らせるために、11月9日から24日まで、市史料館で「市の偉人展」を開催。市出身の代表的な偉人8人の約250点の品を展示し、約1,600人が訪れました。問い合わせ 社会教育課 長谷川 ☎ 053-2646



田沼意次（相良）
江戸幕府の老中
経済政策で幕府財政を立て直した相良藩主



意次寄進の神輿・馬具